

寺報

No.662

令和4年10月

蓮華寺
發行

御聖訓

我弟子に朝夕教えしかども、疑いをおこして皆すてけん。つたなき者のならいは、約束せし事をまことの時はわするゝなるべし。

『開目鈔』



(解説)

日蓮大聖人は、弟子・信者には常に法華経・お題目の信仰をする事を朝な夕なに教えてきました。しかし、信仰を貫き通すという事は、中々むずかしい事なのでしょう。

時には、誰かに誹謗中傷されたりすると、心に迷いが生じ、信仰を捨てる人もいたりします。

人間の心は弱いもので、肝心な時になると、この時誓った約束を忘れてしまうものなのです。

だが、今この大事な時にこそ、この約束を守つていかなければならないのです。

当山でも「これから霊神符（お守り）を持ち、一生懸命法華経・お題目の信仰します」と約束する人は多いのですが、何か災難や自分に不都合な事が起きるとすぐにやめてしまい、約束を実行し続ける人が少ないのが現状です。

しかし、我々はこういう辛い時こそ、神仏を心の頼りとし、祈り、信仰を貫き通していくべきではないのでしょうか。

御会式

十月二十三日(日)

午後一時より



※法要終了後、ご法話あり
毎年好評の『大平上人』が今年もお話をします。

- * 本年は、第七百四十一回目のご法事に当ります。檀信徒の皆様は、必ずご参拝、ご焼香し、日蓮大聖人様へ御報恩の誠を尽しましょう。
- * お経は、『如来神力品第二十一』の中頃「爾の時に佛、上行等の菩薩大衆に告げたまわく」から読みますので、皆様もご一緒にお唱えしましょう。
- * 先祖・仏様のご供養(諷誦文)と日蓮大聖人御報恩謝徳【各千円・お札付】をお受け致します。
- * お供物も受付けています。
- * 法要終了後の『ご法話』も必ずご聴聞下さい。

「御会式」には必ず参拝しよう

弘安五年(一二八二)十月十三日の午前八時、数々の迫害にも堪え、我々にお題目の信仰を教えられた日蓮大聖人は、東京は池上の地で六十一歳のご生涯をもって御入滅されました。

翌十四日はご葬儀、十五日には池上で荼毘(火葬)に付され、日蓮大聖人の「いづくにて死に候とも、墓をば身延沢にせさせ候べく候」のご遺命により、お骨は百ヶ日忌の日に身延山へ納められました。

この時以来、毎年日蓮大聖人のご命日忌には、弟子や信者達が法要を営み、ご報恩の誠を捧げてきました。そのご命日忌に行われます法要儀式を『御会式』と呼んでいます。

本来は、仏教各宗派の読経・説法の集まりをいう『法会の儀式』の略称で、敬語の「御」を付け『御会式』としたのであります。

つまり、昔は特に日蓮宗に限って用いられた言葉ではなかったのですが、日蓮大聖人の数々の偉業、偉大さまたご人徳により、大聖人の『御会式』の法要だけが有名になり、他の宗派のものは影をひそめてしまい、

「お会式といえは日蓮大聖人の御命日である」といわれるまでになったのです。

特に池上本門寺の『御会式』は、全国より沢山の信者が集まり、前日のお速夜には万灯をかつぎ、笛で調子を取りカネ・太鼓を叩く万灯行列が出て、交通規制がかかる程の盛況ぶりとなります。

ですから、この余りの賑やかさに、これが日蓮大聖人のご法事とは知らないで、逆にお祝ごとだと思つてい

る人達も沢山います。皆様が法事をする時は、しめやかにごそかにお勤めを行なうものですが、我々は日蓮大聖人の唱えられたお題目によって、自身もまたご先祖様も救われている事に感謝し、

「お祖師様(日蓮大聖人)ご安心下さい。みんな元気に教えの通りお題目を唱えていますよ。どうぞこの様子を見て下さい。」

とご報告し、自信を持って日蓮宗信徒としての証しを示していくべきなのです。どうか『お会式』の法要には必ず参列し、自らの報恩感謝の気持ち、日蓮大聖人に現わそうではありませんか。

檀信徒研修会のお知らせ

☆十月二十九日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職

* 『聖典の読誦』(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂【イス席です】

持参品：聖典(お経本)・数珠・団扇太鼓

月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

* ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

⑨ 研修会は休まず行いますので、ご参加は各自ご自由に健康管理のもとご参加下さい。

蓮華寺

〔盛運祈願会〕に参拝し

お守りを戴きましよう

我々は先祖や過去の因縁により、知らず知らずの間に悪業の種をまき、思いも知れない悪運に見舞われる時があります。

このような状況から、常に我々の身を守ってくれますのが『俱生霊神符』（毎月のお守り）であり、更にその月の運勢が良くなりますようにと、ご本尊様に祈念する行事を「盛運祈願会」といいます。

蓮華寺檀信徒の皆様は、この為に毎月ついたちの午後一時からのこの行事に参拝し、より強いご守護を戴きますようにと祈り、そしてお守りを交換しています。しかし、中にはお守りのみを求め、「盛運祈願会」に参拝しない方もいます。

我々は、常にご本尊・日蓮大聖人・諸天善神への報恩感謝を忘れてはいけません。

どうか皆様は「盛運祈願会」には必ず参拝して、自ら法華経・お題目を唱え、そしてお守りを戴くようになさしょう。

◎日蓮大聖人

聖語カレンダー 《限定販売》

日蓮宗新聞社発行で、縦58横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日（日蓮宗で重要な日）も出ております。

一部・・・五〇〇円
◎令和五年度「暦」
一部・・・一五〇円

☆ 霊 断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

霊断と『霊』の字がありますが、霊を呼び出してなどという事は決してありませんのでご安心下さい。なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

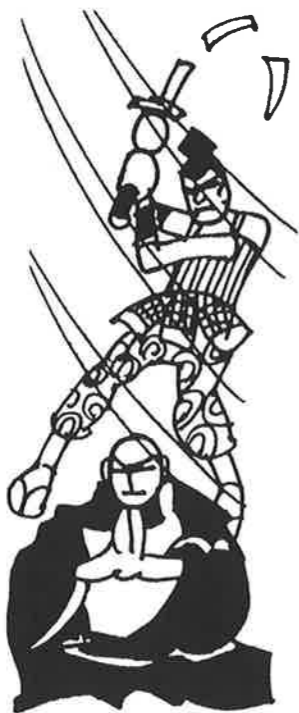
【ご相談料は一件につき三千元です】
必ずご予約をお願いします。 ☎776-5840

竜ノ口御法難会

十月十三日（木）

午後一時より

於…大本堂



*参拝者には全員、オハギをご供養致します。

同じアンコロモチですが、秋はオハギ（お萩）・春はボタモチ（牡丹餅）といわれています。

⑨『竜ノ口御法難会』は「十三日講」のお勤めの中で執り行います。

『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきています。それも構いません。

◎三年以上使用の方で、上位の位牌壇を希望する方は数がある限り無料でお譲り致します。

◎やむなく、ご親戚やご友人に譲渡する事も出来ますが、その際はお寺に必ずご連絡下さい。

蓮華寺 TEL七七六一五八四〇

『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』の祈祷を行っています。
『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・平成二十八年生れの女兒

◎五歳・平成三十年生れの男児

◎三歳・令和二年生れの女兒

となりますが、ご家庭の事情により「満年令」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願いまして、日蓮宗のご祈祷をお受け下さい。

なお、子供さんには「鬼子母神木札」「千歳飴」「干支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。

※用意する物・御神酒一升(ご本人の名前を書く)



『靈神符』を持ちましょう！

最近は何いもよらない事故・事件・災害が多発して特に、お子さんやお年寄りが多く巻き込まれている状態です。

檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」というお考えはお止めになりまして、素直に毎月『靈神符』(お守り)を肌身離さずお持ちになりますようお願い致します。



【一体・百五十円】

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。
会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『提灯』！募集！

当山で『御会式』『お正月』『鬼子母神大祭』に下げます『提灯』(トローロー)を募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

十月の行事

一 日(土)『盛運祈願会』 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【靈神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お経とお題目を唱えましょう。
- ・ 檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



十 日(月)『妙見小祭』 朝のお勤め中

十三日(木)『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- ・ 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・ 日蓮大聖人の御報恩を忘れずに参拝しましょう。

十三日(木)『竜ノ口御法難会』 午後一時より

二十三日(日)『鬼子母神小祭』 朝のお勤め中

二十三日(日)『御会式』 午後一時より

二十九日(土)『檀信徒研修会』 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

二十一日(金)『御会式』の準備・・・午前九時より

・ 一般檀信徒の皆様・教宣部男女部と檀信徒の皆様が奉仕で作られています。どなたでも参加出来ますので、日蓮大聖人様への御報恩の為、よろしくご協力をお願い致します。

* 大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の準備

二十三日(日)『御会式』のお手伝い

・ 教宣部男女・・・午前十時より

二十四日(月)『御会式』の後片付け

・ 教宣部男女・・・午前十時より

* 大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の後片付け
④『御会式』は大行事です。準備、後片付け等が大変です。

沢山の方々のご奉仕をよろしくお願い致します。教宣部員以外の檀信徒の方も歓迎致します。時間までお出下さい。

◎教宣部長・杉淵昌三

お え しき 御 会 式

*法 要

十月二十三日(日)

午後一時より

※法要終了後・御法話

講師：日蓮宗靈断師会・指導局事業部長
広島市・龍華寺住職

大平 貫脩 上人



※檀信徒の皆様は、『御会式』法要には必ず参拝し、日蓮大聖人様へご報恩のご焼香致しましょう。

※日蓮大聖人様の御報恩謝徳と先祖・仏様のご供養【諷誦文】(お札付・千円)、お供物等をお受け致します。